

PHOTO
まちな
できごと
NEWS

市の活性化を誓う新年祝賀交歓会

1月7日、平戸文化センターで、新年祝賀交歓会(市・平戸商工会議所共催)が開催され、約300人の観光商工や農林水産関連の事業者、市民のみなさんなどが参加しました。現在の100年に一度と言われる世界経済の危機の中、本市経済も非常に厳しい状況になることが予想されますが、参加者のみなさんは力を合わせて、この難局を乗り越え地域の活性化を目指すことを誓いました。会場では、現在ブランド化をすすめている、平戸ひらめ、平戸牛、カキを使った料理の試食会も行われ大変好評でした。



白石さんに初期消火の感謝状

12月16日、平戸市消防本部大島支所で、大島村で発生した建物火災の初期消火にあたり、被害を最小限に食い止めたとして松尾茂廣消防長より白石武見さん(大島村大根坂)に感謝状が贈られました。
この建物火災は、昨年11月6日午後5時30分ごろ大島村大根坂の木造瓦葺2階建ての住宅で発生したもので、白石さんは、煙が上がっているのをいち早く発見し、自分の危険をかえりみず屋内に進入し水道などを使用して初期消火にあたられました。



元気いっぱい100歳の誕生日

1月15日、岩の上町の山口友一さんが100歳の誕生日を迎えられ、同日、白濱市長が自宅を訪れ、花束と記念品を贈りました。山口さんは、一人で歩いて座敷まで来るほど、とても元気。普段は自室の座いすに座ってテレビを見て過ごしています。毎週金曜日にはデイサービスに介護タクシーで出かけ、お風呂に入ることが楽しみとか。白濱市長の訪問に「今日はお忙しい中ありがとうございます。家族の支えがあって100歳まで健康で生活しています」とはっきりとした口調で話していました。



商店街一帯が美術館となりました!

1月17日から26日まで、宮の町と木引田町商店街の空き店舗や商店などの9会場で、「まちかど美術展」(平戸市美術振興会主催・井芹学会長)が開催されました。これは、市民のみなさんに身近に美術に触れてもらい美術の普及拡大を図る目的で開催されたもので初めての試み。各展示会場には、写真家の栗林慧氏と浜崎さわこ氏、陶芸家の寺田光次氏の協賛出品を含め、市民のみなさんが出品した作品200点以上が、まちなかを美術館として飾り、訪れたみなさんの目を楽しませていました。



消防・防災への決意を新たに!

1月5日、平戸文化センターで、毎年恒例の「平成21年平戸市消防出初式」が行われ、消防職員や市内34個分団の消防団員、婦人防火クラブ員など約760人が参加。式典では、永年勤続功労者や退職消防団員、防火水槽・格納庫用地の無償提供者、長崎県消防ポンプ操法大会出場者などに、感謝状、表彰状が贈られました。
式典後には、消防車両15台による市街地商店街での街頭パレードや、ポンプ車10台による平戸港へ向けての一斉放水が行われ、新年の消防と防災への決意を新たにしました。



絶好のロケーションで力走!

12月14日、田平町の中瀬草原で、「第11回たびら中瀬草原クロスカントリー大会」が開催され、男女別、学年別、距離別の18部門に市内外から約800人が参加しました。コースは、的山大島や壱岐島が浮かぶ女界灘を一望できる絶好のロケーションですが、高低差の激しいコース。選手のみなさんは、応援に駆けつけた保護者などの熱い声援に後押しされながら、厳しいコースを力走。ファミリーの部では、子どもが親の手を引いて一緒にゴールを目指すほほ笑ましい姿も見られました。



箱根駅伝に負けないレースを展開!

1月1日、生月地区の新年の伝統行事「第54回生月島縦断駅伝大会」が6区間22.7kmで行われ、地区の部6チーム、一般の部3チーム、学生の部7チーム、オープン参加5チームの計21チームが参加し、健脚を競いました。選手のみなさんは、沿道に駆けつけたみなさんの声援を受けながら、朝から雪が降る寒さを吹き飛ばすように、元気に力走していました。優勝チームは次のとおり。
【地区の部】壱部 【一般の部】猶興館B
【学生の部】生月中野球部B

